

① 基本事項

計画コード

22043

事業名

健康都市大学創設・運営事業

事業手法

☒ 直営
☐ 一部委託
☐ 全部委託
☐ 補助等
☐ その他()

施策体系

施策の大綱

02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実

基本施策

01:健康づくりの推進と地域医療の充実

施策の方向

01:「健康都市」の推進

重点プロジェクト

01:「健都さぷり+」プロジェクト

事業期間

R 4 年度 ～ R - 年度

主な根拠法令等

-

予算科目

会計

01:一般会計

款

04:衛生費

項

01:保健衛生費

目

01:保健衛生総務費

担当部署

部

健康福祉部

課

健康政策課
健康都市推進G

② 事業概要（P）

事業の必要性(経緯・背景等)

事業の対象(誰に、何に対して)

事業の目的(どのような状態にしたいのか)

事業の内容(どのような取組を行うのか)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、すべての市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会にするためには、健康都市政策や免疫力向上、コミュニティの強化などを体系的に図ることで、『真の健康都市』の実現につなげなければならない。

亀山市在住または通勤若しくは通学する者(18歳以上)

『緑の健都かめやま』の実現に向けて、市民の主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図る。

WHOの提唱する健康都市の実現に向け市民のヘルスリテラシーの向上を図るため、健康に関する知識の習得と実践の場として「かめやま健康都市大学」を創設する。また、修了者のうち希望する者を「健都サポーター」と位置付け、自身の主体的な健康活動を促進するとともに、地域での健康活動の拡大に向けた人材育成を目指す。

③ 事業の実施状況（P・D）

年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

事業計画

○先進地視察
○事業イメージの見える化
○既存講座の調査・関連性の整理

○開校・各種講座の周知
○開校式
○各種講座の実施
○修了式

○選択コース(健康・食・運動)
○必須コース(健康都市)
○運営協議会の開催
○修了式
○健都サポーターの活用

○選択コース(健康・食・運動)
○必須コース(健康都市)
○運営協議会の開催
○修了式
○健都サポーターの活用

活動実績

「かめやま健康都市大学」の令和5年度創設に向け、先進地視察による調査研究、創設式(イベント)の立案、開講講座の講師依頼、大学のコース設定等の方向性を決定したことで事業イメージが見える化することができた。また、併せて既存講座についても調査を行った。

令和5年10月にかめやま健康都市大学を創設し、創設記念イベントを開催するなど周知を行った。開校後はコースごとに講座を実施し、予定定員を上回るのべ211名が受講した。3月には修了式を行い、のべ171名が修了し、うち64名が健都サポーターとして登録した。また運営協議会を開催し、委員から次年度講座のテーマや今後の方向性への意見をいただいた。

計画額

事業費

800千円

701千円

6,000千円

6,000千円

5,800千円

3,800千円

国・県支出金

0千円

0千円

0千円

3,000千円

3,000千円

地方債

0千円

0千円

0千円

3,000千円

3,000千円

その他

0千円

0千円

0千円

2,800千円

800千円

一般財源

800千円

701千円

3,000千円

3,000千円

800千円

決算額

事業費

412千円

0千円

0千円

0千円

412千円

国・県支出金

0千円

0千円

0千円

412千円

地方債

0千円

0千円

0千円

412千円

その他

0千円

0千円

0千円

412千円

一般財源

412千円

412千円

412千円

412千円

①期間内計画額(R4-7)

16,400千円

②期間外計画額(R8-)

0千円

①+②総計画額

16,400千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	6,000千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	各種講座の実施回数	かめやま健康都市大学で開催した各種講座の年間実施回数	活動	講座	計画値 実績値		12 13	16	16
	健都サポーターの育成人数	健都サポーター(かめやま健康都市大学の修了認定を受けた者のうち希望する者)登録名簿者数	成果	人	計画値 実績値		55 64	85	105
	健都サポーターの活用回数	健都サポーター会議の出席率(平均)	成果	%	計画値 実績値			70	70

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	かめやま健康都市大学を創設し、受講生をはじめとする市民の方に主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図ることができた。また、修了生のうち希望する方に健都サポーターの登録をいただき、地域への健康活動の拡大に向けた取組の準備ができた。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
亀山市在住または通勤若しくは通学する者(18歳以上)	『緑の健都かめやま』の実現に向けて、市民の主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	令和6年度までの取組内容や成果を精査し、令和8年度以降の健康都市大学の展開に向けた検討・調整を進めるほか、健都サポーターの活用については地域への健康活動の拡大に向け、引き続き人材育成をしていく必要がある。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 引き続きテーマごとの講座を開催回数を増やしながら運営を行いつつ、市の実施する各種講座等を含めた調整に着手する。また健都サポーターの地域での活動に向けた支援を行う。	令和7年度以降で対応するもの 次年度の発展期へのステップアップを見越して、段階的にかめやま健康都市大学の網羅する範囲を拡大するためのコース設定等を行うため、他部署との更なる連携を検討し、調整を行う。

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(拡大)	継続(現状維持)		

1次評価者	健康福祉部 健康政策課 健康都市推進GL 櫻井 ころこ
最終評価者	健康福祉部 健康政策課 課長 大平 守